



## 設計背景

### ■ オフィスで苦痛になった人が多い

オフィス環境で苦痛になってしまおう。  
休憩スペースでリラックスしたい。  
個人スペース欲しい。



### ■ 目的

ビルの老朽化を改善すること。  
オフィス環境を改善されて、働く人達の個性を発揮させ、  
組織を超えた新たなアイデンティティや価値を創出する。

## 計画敷地

### ■ 秋葉原

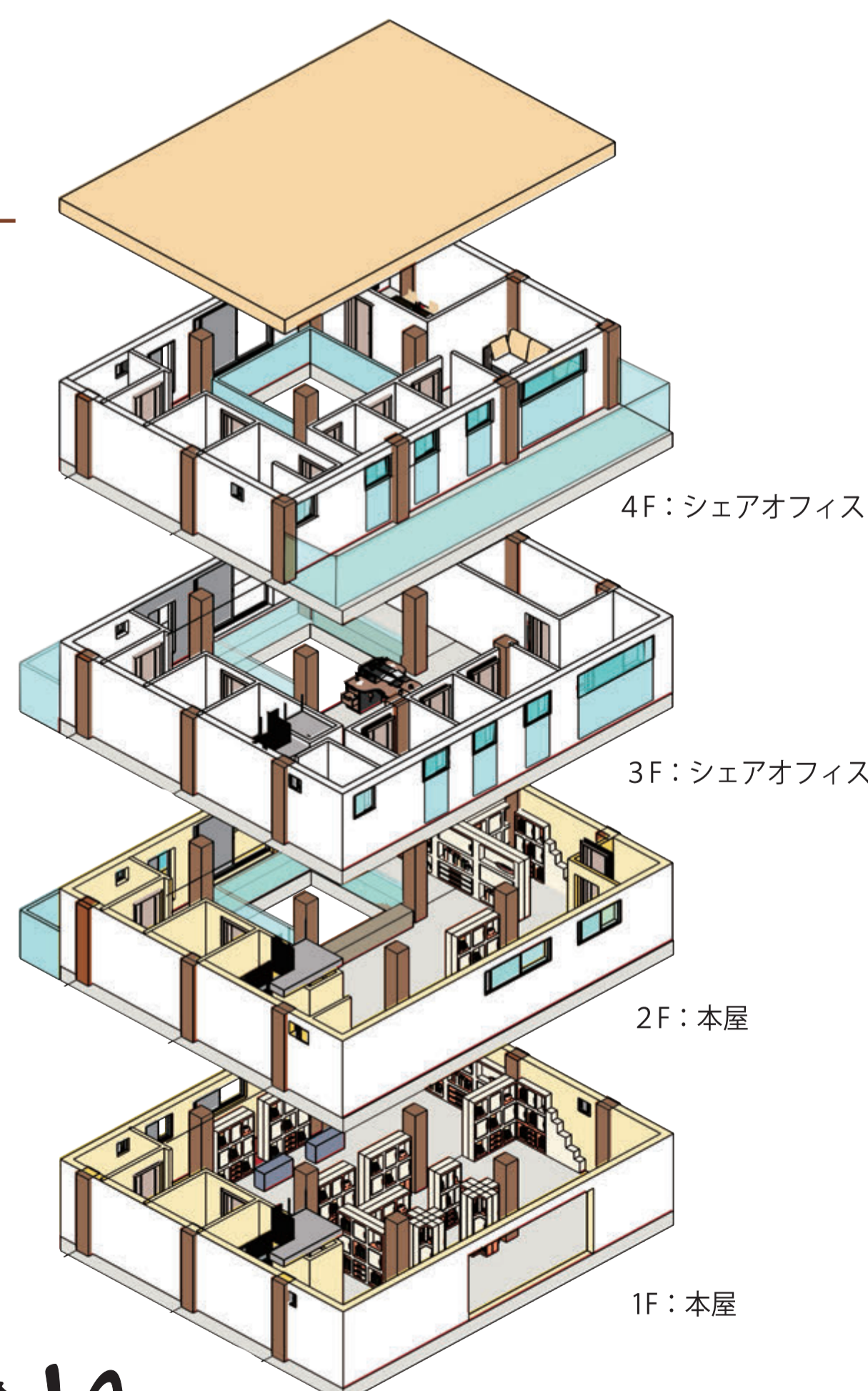
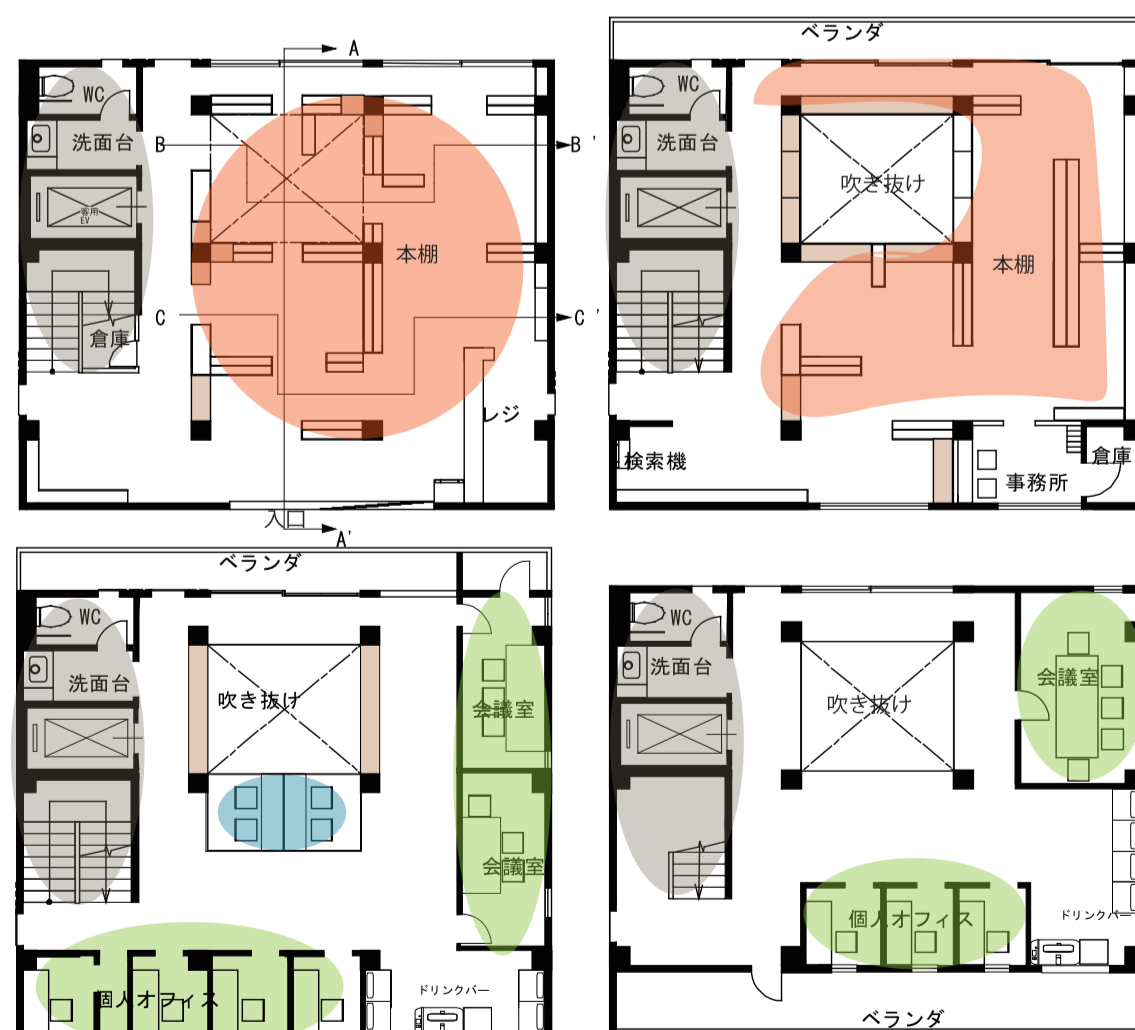
駅徒歩5分。  
構造 軽量鉄骨造。  
竣工 1961年07。  
種別 貸事務所。

### ■ 敷地特徴

サラリーマン多い。  
賑やかな町か、敷地の周りが静か。  
後ろの川が綺麗。



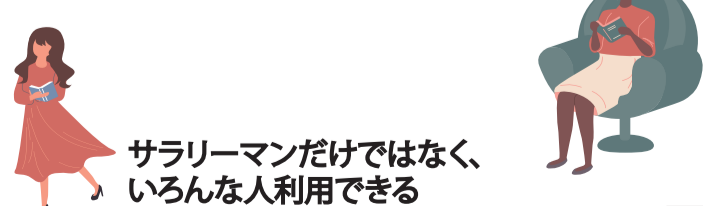
## 敷地図面



## コンセプト

### ■ 老朽化した建物をリノベーションする

休憩時間で小説を読める



サラリーマンだけではなく、  
いろいろな人利用できる

→ シェアオフィス+迷宮本屋

# exploration

## -新たなワークスタイル-

近年オフィスで仕事をすることに苦痛を感じる人が多く、新たな働く場の必要性を感じている。  
そのため、サラリーマンが多い中心街で老朽化した建物をリノベーションし、迷宮のような本屋と、  
新たなコワーキングスペース、シェアオフィスなどの複合施設を提案する。

HAN FEI